

ながぬま



稲刈り作業

— 2区 中野 仁登さん —

農協決算報告

事業の概況

令和2年度 上半期事業の概要を報告いたします。

本年の積雪は少なく、融雪期は3月21日で平年より7日早くなりました。5月上旬は平年より気温も高く、春先から農作業は順調に行われました。5月下旬から6月上旬までは高温多照で降水量が少なく、5月下旬以降に、は種された大豆など一部ほ場で出芽に影響があったものの各作物において順調に収穫作業が行われています。

水稻では、育苗期間中の気温、日照も確保され苗質は良好で、移植期は平年より1日早い5月21日となりました。その後の気象経過も順調で幼穂形成期は平年より1日早い7月2日で前歴期間、冷害危険期も気温は平年並みに推移し、出穂期は平年より2日早い7月29日、成熟期は平年より4日早い9月11日となり、稔実歩合は高く、総粒数は確保され、収量は平年並みからやや高い見込みとなっております。

小麦については、起生期は平年より7日早い3月28日で、莖数は平年より多く、その後の高温多照で、幼穂形成期は4日早まり、止葉期および出穂期は平年並みで推移し、成熟期は2日早い7月17日で、収穫期は平年より2日早まりました。出穂後の気温は高く降水量は少なく推移しましたが、6月下旬にまとまった降雨があり、7月以降日照時間もあつたことから登熟は充実し、穂数も多かったことから品質、収量は平年を上回る状況となり、麦バラ施設における小麦受入重量は13,899 t（計画対比105.1%）となっております。

主な事業内容は下記の通りであり、各事業の目標達成に向け積極的な事業推進に努め、組合員経済の安定向上と農協経営に万全を期してまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

信用事業

区分	上期末残高	前年対比	
貯金	37,244,119千円	423,616千円増加	
貸付金	長・短期	6,170,058千円	231,956千円増加
	受託資金	6,160,730千円	132,990千円増加
	計	12,330,788千円	364,946千円増加

共済事業

(生命・終身・こども・建更・年金)

区分	上期末保有高	前年対比
保障額	72,648,780千円	1,559,740千円減少

販売事業

区分	上期末取扱高	前年対比
米	277,903千円	95,671千円増加
小麦	9,650千円	21,575千円減少
豆類・その他	54,134千円	14,961千円増加
園芸	1,098,327千円	26,537千円減少
酪畜	809,647千円	231,829千円増加
計	2,249,664千円	294,350千円増加

営農資材事業

区分	上期末取扱高	前年対比
肥料	470,878千円	6,408千円減少
その他資材	1,202,178千円	68,664千円減少
農機具	366,165千円	14,081千円増加
計	2,039,221千円	60,991千円減少



昨年より1日早いスタートとなり、「ななつぼし」「ゆめびりか」約400トンの受入を行いました。また、本年も引き続き「食への安全・安心・信頼性確保」に向けて、品種判別のDNA鑑定や残留農薬の検査、カドミウム分析を実施し、より安全性の高い玄米を供給してまいります。

9月17日、令和2年産米の荷受作業を開始しました。

令和2年産「ななつぼし」の館 作業開始

消防避難訓練を実施

9月9日、本所事務所、Aコープながめま店、本所生産資材事務所、(株)FAMO長沼機械センターも含め消防訓練が実施され、通報・避難訓練と消火訓練を行いました。

この日はそれぞれの事務所、整備工場内で出火があつたとの想定で自動火災報知設備での非常ベルを鳴らし、火元の発生に伴う119番への通報・消火活動、事務所・店舗や整備工場内での避難誘導を職員・社員・従業員が行いました。また、株式会社ユニ二商会の指導による車火災時を想定での消火訓練と自動火災報知設備・火災非常ベルの使用についての説明を受け、職員・社員は真剣な表情で万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。



たいせつな人へのこしだい

知恵と豊かな暮らし

「家の光」

12月号 第1別冊付録

2021 家計簿

1月号 第1別冊付録

養生レシピ

1月号 第2別冊付録

四季の気配をたのしむ 二十四節気手帖

お申し込み お問い合わせ 営農企画課 ☎88-2232

JAグループのファミリーマガジン 「家の光」12月号・1月号 購読申し込み受付中

12月号申込期日:10月15日(木) / 1月号申込期日:11月13日(金)

3. コムギなまぐさ黒穂病防除

- ・フロンサイドSCは、令和2年4月に「コムギなまぐさ黒穂病」防除に対して登録が拡大されました。
- ・フロンサイドSC 1000倍(100～160ℓ)散布は、「雪腐れ病」と「コムギなまぐさ黒穂病」に対し防除効果が高く、さらに同時防除が可能です。

「フロンサイドSC」による根雪前防除ができない場合は

- ・「チルト乳剤25」
750倍液を60～150ℓ/10a
※株元まで十分散布できるよう水量を確保し防除しましょう。

チルト乳剤25の使用時期

栽培方法	使用時期
ドリル播栽培	根雪前
大豆間作小麦	大豆収穫後から根雪前

収穫後のほ場管理と土壌診断の実施

(1) 収穫残渣物処理と雑草対策

収穫残渣物は、速やかにほ場搬出および浅めにすき込む。
雑草発生ほ場では、残渣物すき込み10日後程度ののち、雑草が発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2) 排水改善

排水路の清掃(排水路の滞水回避)、心土破碎、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(3) pH6を目標に

土壌診断によりpH確認し、炭カルなどでpH改善しましょう。
※pH測定は、農業改良普及センターおよびJA資材センターで確認できます。

※ 目標pH6矯正への炭カル施用量(kg/10a 改良深10cm)

測定値(pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	43

※アレニウス氏表による酸性矯正より(腐植程度:含むの場合)
多項目の土壌分析診断については、JA助成(1戸5点まで)を活用しましょう。

10～11月の秋小麦栽培ポイント



1. 雑草対策

イネ科雑草および広葉雑草処理を10月中旬までに実施しましょう。
越冬した雑草は、春の除草剤処理では効果が劣ります。

主な除草剤

	農薬名	使用時期	10a当り使用量(水量)
イネ科雑草	トレファノサイド乳剤	小麦は種後～3葉期	200～300ml (100ℓ)
広葉雑草	エコパートフロアブル	小麦2～4葉期	50～75ml (100ℓ)

※小麦2～3葉期は、トレファノサイド乳剤とエコパートフロアブルの同時処理が可能です。

2. 雪腐病防除

雪腐病は融雪後の生育遅延や茎数の減少を招き、収量・品質を低下させます。

(1) 排水対策

排水不良地では降雨や融雪水が滞水し、窒息による枯死や雪腐病の発生を助長させます。融雪水が停滞しやすいほ場は、速やかに排水できるよう溝切りなどの排水対策を実施しましょう。

(2) 農薬による防除

根雪始に近いほど、安定した防除効果を得られます。以下の残効性に優れる薬剤で防除してください。特に、「ゆめちから」は耐雪性が中なので薬剤防除をしましょう。

【散布時期の目安】10月下旬～11月中旬 【参考】根雪始 平年:12月11日

※ スプレーや散布による雪腐病の防除薬剤

農薬名	対象病害	倍率(10a散布水量)
フロンサイドSC	雪腐小粒菌核病 雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1,000倍(100ℓ) 250倍(25ℓ)
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	1,000倍(100ℓ) 250倍(25ℓ)

※フロンサイドSCおよびランマンフロアブルの効果低減の目安
散布後から根雪までの降水量(合計)120～150mm

※ 無人ヘリ散布による雪腐病の防除薬剤

農薬名	対象病害	倍率(10a散布水量)
モンカットベフランフロアブル	雪腐小粒菌核病 紅色雪腐病	4倍(0.8ℓ)
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	8倍(0.8ℓ)

※ フロンサイドSCは少量散布およびラジヘリ防除の登録はありません。

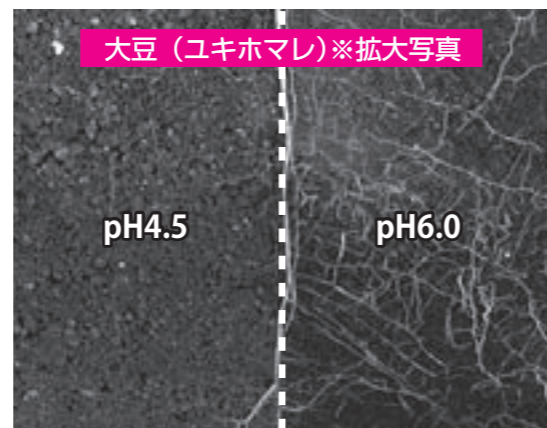
土壤診断を活用した適正施肥の推進について

土壤診断の果たす役割は、大きく二つあります。一つ目は、作物の生育不良の原因究明、二つ目は、水田・畑を正常な状態に維持管理する指標としての役割です。

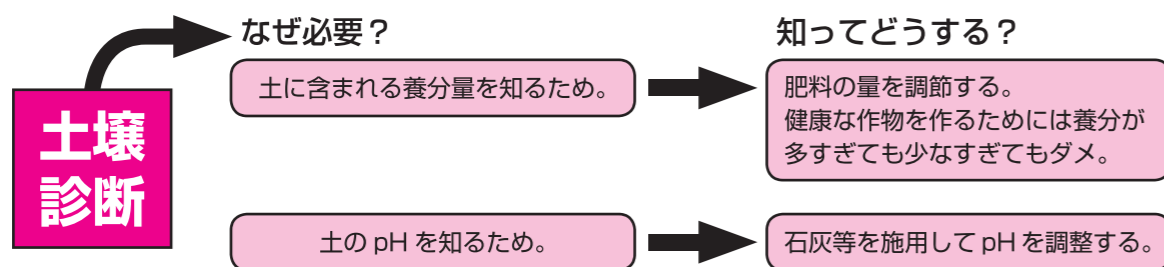
前者が緊急を要する対策診断に対して、後者は、人間の健康診断のようなもので、定期的に健診して悪い所をあらかじめ是正する予防的な診断です。

すなわち、定期的に土壤診断を行って、土壤改良や施肥改善に結びつけ、効果的・効率的な施肥及びほ場管理記録としてコスト低減につなげるうえでも必須改善事項です。

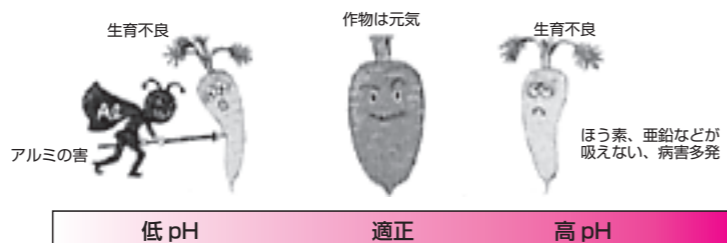
令和元年実施の診断結果では、畑地の4割が基準値(pH5.5)より低く、酸度(pH)矯正が必要なほ場が多い事が伺えます。そのため、JAでは引き続き、土壤診断に係る費用の助成をおこなってまいります。



大豆(ユキホマレ)※拡大写真
土壤pHの違いによる根の生育状況



最低限 pH は 確認しましょう (pH は土の健康の バロメーター)



期間 令和元年度から令和3年度までの3カ年

実施方法

- 土壤診断申込書とともに土壤分析試料を営農資材課へ提出してください。
※土壤診断申込書及び土壤分析試料サンプル袋は、北長沼支所、営農資材課、舞鶴事業所でお取り寄せください。
- 「ホクレンくみあい土壤分析センター」で実施します。(診断結果は、申し込みからおおよそ1カ月)
※混雑状況により診断結果がでるまでにおおよそ2カ月以上かかる場合もあります。
- 対象作物：水稲、畑作、野菜・花き(露地・ハウス)等
- 基本分析費用 2,000円/1点(税別)

助成内容 一戸当たり(正組合員)年間5点を上限に基本分析費用を助成

問い合わせ先 営農企画課 TEL 88-2226 営農資材課 TEL 88-2407

業務時間変更のお知らせ (11月~3月)

部門・部署		平日	土曜日	日・祝日
な が ぬ ま 農 協	一般業務	本所 9:00~17:00 北長沼支所 9:00~17:00 舞鶴事業所 9:00~17:00	休業 ※ 緊急時の連絡先は下記番号へお願いします キャッシュカード盗難・紛失等 ☎0120-944-904 自動車事故受付サポートセンター ☎0120-258-931 レッカー移動・故障時応急対応 ☎0120-063-931	
	貯金・融資(窓口業務)	本所 9:00~15:30 北長沼支所 9:00~15:30		
	現金自動支払機(ATM)	本所 9:00~18:00 北長沼支所 9:00~16:30 舞鶴事業所 9:30~16:30	9:00~16:00	休業
資材センター	本所 9:00~16:30	11月 日直対応 9:00~12:00	休業	12月以降 休業
機械センター		8:00~17:00	日直対応 8:00~17:00	
F A M O 長 沼	燃料センター	事務所 9:00~17:00	日直対応 9:00~17:00	
	ホクレン給油所	長沼給油所 8:00~18:00 北長沼給油所 8:00~18:00	8:00~12:00	第一・三日曜日休業 その他日曜・祝日は日直対応 9:00~17:00 休業
	Aコープ店舗	長沼店 10:00~18:30	10:00~18:30 定休日については店頭表示にてお知らせします。	
	Aコープ店舗	北長沼店 9:00~17:30	9:00~12:30	休業

事故にあった！ 故障して動かない！

こちらに
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には
JA共済
事故受付
センター
0120-258-931

レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
JA共済
サポート
センター
0120-063-931



POWER UP! レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が**無料！**

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



●事前にJAまたはJA共済サポートセンター（JA共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。（ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります）

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。
※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。
※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円（税込）を限度にサービス対象範囲とします。

ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が**無料！**

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能なお車の応急対応を行います。



夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。
※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。
※原則として、対応員の出動拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上、離島、山間部など一部の場所は本サービスの対象外となります。
※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応（事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等）を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時（対応は22時まで）、土日・祝日：9時～21時（対応は22時まで）です。
※対人賠償事故（人身傷害事故を含みます）、対物賠償事故、車両諸費用保障特約のついた車両単独事故が対象となります。
※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査サービス担当者が対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜：終日、日曜・祝日：0時～17時です。
※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。
※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■各種サービス共通の注意事項（サービスのご利用にあたっては所定の条件があります。）
※交通事情、気象状況等により、対応員の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。

20019990042



JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

ご契約の自動車事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA（業務時間内）もしくは

フリーダイヤル安心サービス

（24時間 365日対応）

JA共済事故受付センター
事故等の場合には
0120-258-931
JA共済サポートセンター
レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合には
0120-063-931

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

安心の5つのサービス

- レッカーサービス
- ロードサービス
- 夜間休日現場急行サービス
- 夜間休日初期対応サービス
- 休日契約者面談サービス

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

もし 事故が起きたら・・・

なにより
119番

まず、
被害者の
保護を。

応急手当、救急車の手配を行ってください。軽いケガや自覚症状のない場合でも、医師に診断をしてもらうようにしましょう。事故車をそのままにしておく、交通渋滞や後続事故の原因となります。すぐに安全な場所へ避難しましょう。

かならず
110番

警察に
必ず
事故通報を。

安全を確保したら、警察への届出と相手方の確認を行いましょ。共済金の請求をするときには、交通事故証明書や医師の診断書などが必要です。そのためにもすみやかな届出が大切です。

- 警察には次の事項を連絡します。
- ①事故発生の日時と場所。
 - ②負傷者の人数とその程度。
 - ③壊したものとその程度。
 - ④事故に対して講じた措置。

わすれず
JAへ

事故通知を
JAへ。

警察への連絡後、JAへ詳しい通知、および相談をします。できるだけ現場での状況が的確にわかるよう相手方、目撃者からの確認とメモを忘れずに。

- JAへも次の要点をご連絡ください。
- ①事故状況・日時・場所。
 - ②相手方の住所・氏名・連絡先・傷害の程度・病院名・車両番号。
 - ③目撃者の住所・氏名。
 - ④届出警察署と担当官。

「ドライバー確認カード」を携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がっています。



（うら）



（おもて）

「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。

車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともにお持ちになってください。

トラクターの 盗難が多発しています!

トラクターを倉庫にしまおう

盗難の多くは田んぼや畑で発生しています。ほ場にトラクターを放置せず、鍵が掛かる倉庫にしまいましょう。



放置して帰らないで!

トラクターに鍵をかけよう

盗まれているものの多くは施錠されていませんでした。トラクターを離れる際は必ず施錠しましょう。



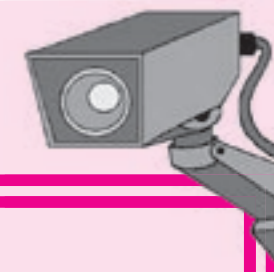
少しの手間で大きな効果! エンジン起動にパスワードが必要となる機能等も有効です。

作業員やトラクターに目印をつけよう

侵入者を見分けるためにも、作業員は腕章等、トラクターにはステッカー等の目印をつけましょう。



農家の皆様へ



農畜産物の盗難にご注意ください!!

【防犯上のポイント】

- ◎ 収穫物や作業道具(コンテナや脚立等)は、放置せずに持ち帰りましょう
- ◎ ハウスや保管庫等の窓、出入口の施錠を徹底しましょう
- ◎ 防犯カメラ、センサーライトを設置し、通行人から見える位置に「防犯カメラ作動中」等のステッカーや看板等を設置しましょう
- ◎ 不審者・不審車両を見かけた場合は、速やかに警察に通報しましょう



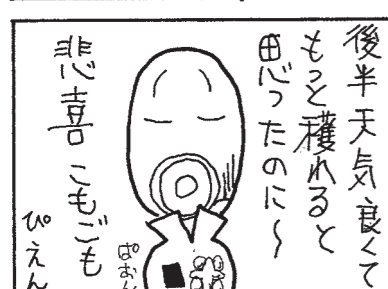
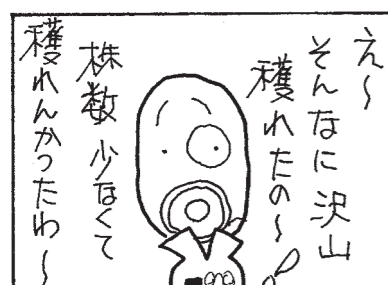
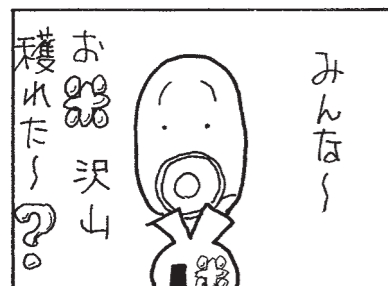
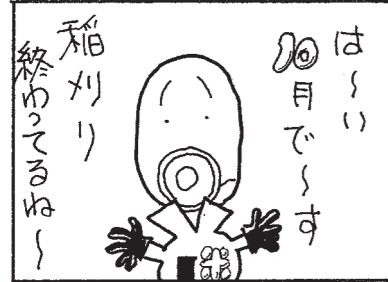
ツイッターで防犯情報等発信中!

ツイッター 北海道警察 防犯情報

検索



JAグループ北海道・北海道警察



ロータリーブレード 年内予約推進のご案内

来シーズンに向けたロータリーブレードの年内予約推進を行います。

JAオリジナルのSP爪・青爪・だんだん爪（株太陽製）および純正爪を予約特価でご提供いたします。

営農コスト低減のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

※10月26日～10月29日の日程で、各戸巡回推進へ伺いますので、ロータリーブレードの磨耗状況をご確認の上、交換が必要な方はお申し付けください。

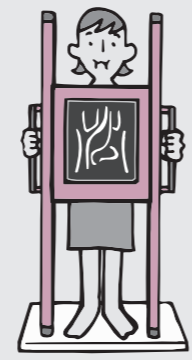
お問い合わせ 本所資材センター ☎88-2189

団体人間ドック健診日のお知らせ

4月に取りまとめをいたしました、団体人間ドックを10月より行います。

申し込みをされた方には、受診予定日の1ヶ月程前にハガキにて健診日のご案内いたしますので、内容をご確認くださいようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、営農企画課（88-2226）までご連絡ください。



「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **861** 円

効力発生年月日 令和 **元** 年 **10** 月 **3** 日

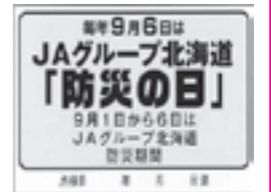
厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）

JAグループ通信

JA北海道中央会



本年9月6日で北海道胆振東部地震の発生から丸2年が経ちました。JAグループ北海道では、2年前の大災害を風化させないよう、毎年9月6日をJAグループ北海道「防災の日」と定め、改めてJA・組合員の防災意識の向上や今後の災害への備え、施設補強、自家発電機の一斉点検等の推進をいたします。また、9月1日から9月6日を「防災期間」として位置付け、全道の組合員に呼びかけ、自家発電機やハウス等の一斉点検に取り組んでいただきました。新型コロナウイルスの影響を受け、感染防止対策に取り組むだけでなく、地震や台風などの自然災害に対する危機意識や防災意識を高めることも、安全安心に暮らす上で、また日々の営農においても必要不可欠です。JAグループ北海道では、今後も予測不能な災害に備えるため、防災対策を推進していきます。



JA北海道信連



JAと北海道信連との間で相互に職員を外向派遣させる、人事交流を平成22年度から実施しています。先ごろ、第5回の人事交流（2年間）が終了しました。今回は、JA北ひびき1名、JA鹿追町1名の職員が北海道信連へ、北海道信連から各JAに1名ずつの職員が外向する形で人事交流を行いました。これらの人事交流を通じて、JAバンク北海道の体制・機能強化と人材育成を図ることとしています。



JA共済連北海道



近年の、道路運送車両法の運用見直しに伴い、農耕用トラクターに作業機を装着した場合でも、条件を満たせば公道を走行できるように緩和されました。ただし、走行時には作業機の後方に規制緩和対象であることの『制限標識』を表示することが必要となります。そこで、JA共済連では、『運行速度時速15キロ以下』などと記載された『制限標識』を配布することといたしました。これにより、接触事故・死亡事故の防止やトラクターの安全な走行に寄与出来ることを期待しております。



ホクレン



ホクレンとカルビー株式会社は8月5日、馬鈴しょをはじめとする北海道産農産物の振興に向けた包括連携協定の調印式を札幌で開きました。式では、ホクレンの篠原末治会長（写真右）、カルビーの伊藤秀二社長がそれぞれ、双方の強みを生かした事業展開に向けた意欲を語り、その第一弾として、ホクレンの「よくねたいも」を原料に開発したポテトチップスの新商品の発売を発表しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



理事会報告 - 第9回 -

《令和2年9月4日開催》

[議案]

- 第1号 令和2年度上半期仮決算報告について(子会社)
- 第2号 令和2年度上半期仮決算報告について(農協)
- 第3号 令和2年産米概算金の設定について
- 第4号 組合員の資格変更及び出資減口について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 主要農産物の生育状況について
3. 令和2年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
4. 職員に対する定時手当の支給について
5. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組合員 1,603名
 正組合員 (837名)
 准組合員 (766名)
 正組合員戸数 685戸

農協の動き 8/28~9/4

8月

28日 北農健保組合 組合会 於 北農健保会館

9月

4日 理事会 於 農 協

4日 粃バラ施設運営協議会 於 農 協

4日 事業推進員会議 於 農 協

喪中はがき 承ります 年賀状印刷



喪中はがき 10月20日より受付

年賀状 11月1日より受付

Aコープながめま店 ☎88-2222
 Aコープ北長沼店 ☎89-2136



農業・地域・JAを担う
 リーダーの雑誌



お問い合わせ 営農企画課 Tel.88-2232

JA JAグループ 家の支協会

食と農 ひらく未来へ 確かな目

最新の営農技術
 から農畜産物の
 市況見通しまで

購読のお申し込みはJAへ



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞



JA だより ながめま
 2020. 10月号 No.320

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
 発行/ながめま農業協同組合 営農部営農企画課
 TEL/0123-88-2232 FAX/0123-88-4113
 URL/http://www.ja-naganuma.or.jp